

組み込みソフトウェア



●X線装置の開発製造販売、研究調査の受託およびコンサルタント

株式会社エックスレイプレジジョン

▶TEL: 075-662-5161 FAX: 075-662-5171

▶URL: <http://www.x-ray.co.jp>

地域の産学官の共同開発により、市場にないX線装置を開発 コンパクトかつ非破壊解析できる性能は世界レベル

ここが
スゴイ!

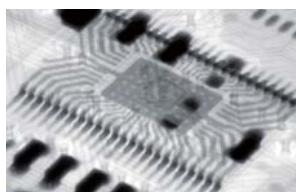
地域の大学等研究機関、企業との共同開発を進めることで、市場にないX線装置を多数開発。コンパクトなサイズで、砕いたり融解することなく材料や検体試料が自動解析できる性能を持つ同社の装置は、世界レベルの技術の結晶である。



可搬型X線透視装置。1台で検体試料の外観像とX線透視像をみることができ、簡単に操作できるのが利点。



携帯電話プリント基板



携帯電話プリント基板X線透視像



小型・高感度カメラ。外形寸法は
43.5mm(W) × 44mm (H) × 80mm(L)。

事業概要と躍進の契機

産学官連携による研究開発を重ね、小型・軽量で高性能なエックス線装置を開発

平成12年に設立。堀場製作所の開発部長であった細川社長が、透視と元素分析を一台で処理できるX線装置の開発を目指して、社内ベンチャーを立ちあげたのち独立した。国や自治体の支援事業を活用しながら、地域に集積する大学や公設試等の研究機関、企業と共同開発に取り組み、小型・軽量化、高性能化したX線装置の開発、製造・販売を少量多品種で行っている。

会社の強み・主力商品など

市場にない斬新な装置を次々と開発。特許による技術の保護を徹底

産学官連携で開発した主な製品としては、1台で試料の外観像とX線透視像が非破壊で見られる可搬型X線透視装置や、現像せずにその場で透視像が見られるわずか200gの小型・高感度カメラなどがあり、電子部品メーカーや樹脂メーカーの研究開発部門、リチウムイオン電池関連企業などに納入されている。また、新しく開発された装置は、開発の都度、特許を取得し権利化することで、市場にない斬新な製品技術の保護を徹底している。

今後の事業展開

プリント基板内のレアメタルを分析するX線装置で、海外進出を図る

近年、携帯や小型家電の部品であるプリント基板に使用されているレアメタルの分量を、非破壊で自動分析できるX線装置を開発。世界一の都市鉱山とも呼ばれる日本と、アメリカをターゲットとして販売する海外展開を徐々に進めていく意向である。

●企業プロフィール

〒601-8116 京都市南区上鳥羽針立町11-2
代表取締役 細川好則
設立:2000年(平成12年)
従業員数:6名
資本金:3,000万円

企業メッセージ

小さい会社ですので、人と人の関わり合いを大切にしています。これからも、地域の企業や大学、行政など、いろんな人の話を聞き交流しながら、今の世の中の人々が望むものを創りだすよう、夢を持って取り組みます。

代表取締役 細川好則

